

# 令和7年度 東京都立第四商業高等学校 学校運営連絡協議会 実施報告書

## 1 組織

- (1) 名称 東京都立第四商業高等学校 学校運営連絡協議会 (全日制課程)
- (2) 事務局 副校長、教務部主任、生徒指導部主任、進路指導部主任
- (3) 内部委員 校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生徒指導部主任、進路指導部主任、総務部主任、保健部主任 計8名
- (4) 協議委員 PTA会長、同窓会会長、地元商店街会長、中学校長、保育園長、警察関係者、消防関係者 計7名

## 2 学校運営連絡協議会の概要

- (1) 第1回 令和7年10月3日(金) 15:45~16:45 (会議室)  
協議委員7名、内部委員8名  
内容 学校長挨拶、協議委員委嘱、委員紹介、令和6年度学校経営報告、令和7年度学校経営計画、本校の現状と課題の報告(経営企画室、教務部、生徒指導部、進路指導部、総務部、保健部)、協議委員からの意見および情報提供
  - 第2回 令和8年3月4日(金) 15:45~16:45 (会議室)  
協議委員4名、内部委員5名  
内容 学校長挨拶、本校の状況と課題の報告(経営企画室、教務部、生徒指導部、進路指導部、総務部、保健部)、協議委員からの意見および情報提供
- (2) 評価委員会は、協議会の中で検討・報告

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模 (Microsoft forms と一部紙面による。)
  - ・12月 全校生徒 447人 (回収 352人 79%)
  - ・12月 保護者全員 447人 (回収 105人 23%)
  - ・3月 教職員 40人 (回収 33人 83%)
  - ・3月 協議委員 7人 (回収 6人 86%)
- (3) 主な評価項目
  - ・学校生活、教育目標、学校行事、授業進度、指導内容・方法の工夫、基礎・基本の徹底と充実、思考力・判断力・表現力、部活動、ルールマナーの順守、教育相談体制、生徒会活動、安全教育、進路情報の提供、進路指導の相談、学校の施設・整備、パソコンの充実、図書館の利用、健康づくり、保護者・地域との連携、働き方改革

#### (4) 評価結果の概要および分析・考察

##### [生徒]

- ・学校生活全般、学習活動、の項目で上級学年の方が肯定的意見がやや多い。特に進路活動の項目は上級学年で肯定的意見が多い。これは上級学年になるにしたがって、本校の良さを理解し、目標が明確化されるためであろう。
- ・生活指導の項目は学年間の差があまりないが、交通ルールについては、1年生の方が意識が高い。これは1年生からヘルメットの指導を徹底した結果である。
- ・昨年に引き続き図書館の利用度が低いので、改善すべき課題である。
- ・校舎老朽化の不満が多く、経営企画室と連携し、引き続き改善できるところから、取り組む。

##### [保護者]

- ・昨年はほぼ全項目で、上級学年で否定的な意見が多かったが、今年度は逆に、上級学年で肯定的な意見が多かった。これは上級学年になるにしたがって、本校の良さを保護者が理解してくれた結果である。
- ・校舎の老朽化は昨年同様、保護者からも多くの意見が出ており、大きな課題である。

##### [教職員]

- ・全般的に肯定的な意見が多いが、進路指導で否定的な意見が多い。生徒、保護者からの否定的な意見は少ないので、特に問題はないと思うが、昨年も同様の結果なので、関係分掌と検討する。
- ・昨年度は校舎の老朽化に対する不満が多かったが、今年度は自由意見に不満の記載がない。これは少しずつ改善に取り組んでいる結果である。

##### [協議委員]

- ・昨年同様、全体的に肯定的な意見が多いが、環境整備面での指摘をいただいた。経営企画室と連携し、改善に取り組む。
- ・生徒のマナー、学校生活について、肯定的な意見をいただいているので、甘んじることなく、さらに全職員で取り組む。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

##### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の服装やマナーがよくなっている。
- ・地域における本校の重要性。
- ・中学校での進路指導情報。
- ・協議委員からの本校に対する意見、要望等。
- ・本校に期待されていること。

##### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・校舎の老朽化。
- ・募集対策への取り組み。
- ・自転車通学マナー。

## 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

### (1) 教育課程

- ・ グランドデザインに基づいた新教育課程の適正実施と検証
- ・ 観点別評価の適正実施と検証

### (2) 学習指導

- ・ Teams 等を活用した、リモート学習の更なる充実
- ・ 一人1台端末を活用した授業展開や家庭学習の推進
- ・ オンライン個別学習の充実
- ・ 校内研修の充実と外部研修への参加、授業公開等による授業力の向上
- ・ 実学のビジネス教育の更なる推進と検定資格取得の両立
- ・ 基礎学力の向上とN I E教育の促進

### (3) 進路指導

- ・ 3年間を見据えたキャリア教育の充実
- ・ 進路希望を踏まえた選択科目の履修指導等の充実と検証
- ・ 1学年でのインターンシップの適正実施（ジョブキャンプの活用）
- ・ 「人間と社会」および「ホームルーム」を活用した計画的な進路学習の充実

### (4) 生活指導

- ・ 校則の見直しと、生徒指導の方法を検討し、生活指導に全教員で取り組む体制の維持
- ・ 他者理解を深めるための人権教育を推進し、いじめの未然防止および早期発見・早期対応に努める
- ・ SNSトラブルの未然防止
- ・ 自転車通学の安全指導と安全対策の徹底（特に自転車通学時におけるヘルメット装着率の向上）
- ・ きめ細かな、身だしなみ指導、遅刻指導の徹底

### (5) 特別活動

- ・ 部活動の加入率向上と大会成績の向上
- ・ 防災教育の充実

### (6) 健康・安全

- ・ スクールカウンセラーおよび外部機関との連携による、カウンセリングの充実
- ・ 特別支援に対するスキルアップと生徒情報の共有化により、個に応じた適切な指導の実施
- ・ コンディションレポートを活用し、健康に関する個人情報の共有化および適切な対応

### (7) 広報・募集活動

- ・ 学校ホームページの更なる充実
- ・ 中学校への説明会・出前授業の積極的な取り組み
- ・ 学校説明会・体験入学等の充実
- ・ 中学校や学習塾へのPR訪問の充実

## 6 『学校がよくなった』と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人（回答6人）

(2) 『学校がよくなった』と答えた協議委員の人数 5人

質問内容	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からな い
学校が良くな った	3	2	1	0	0	0

#### 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・協議委員の職員会議及び企画調整会議への参加の機会はなかった。今後も本校教育活動の理解を一層深めるために、実施を継続して検討する。

#### 8 その他

- ・アンケートを学校経営に活かすため、評価項目を検討する。
- ・協議委員の参加率を高めるため、協議委員を次年度は1名入れ替える。